



# 仙台広瀬川ワイズメンズクラブ 2022年1月号ブリテン

通算第127号 2022.1.26



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX: 022-222-2952

Email: otada@mail.tohoku-gakuin.ac.jp 書記 多田 修

ブリテン: <http://ys-east.jimdo.com/bulletin/sendaihirosegawa/>

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1水曜日 仙台YMCA 18:30

## 2020—2021年度 主題 (Theme)

国際会長 キム・サンチェ(韓国) 主題「世界とともにワイズメン」  
アジア太平洋地域会長 大野 勉(神戸ポート) 「100年を超えて変革しよう」  
東日本区理事 大久保 知宏(宇都宮) 「私たちは次の世代のために何ができるか?」  
北東部 部長 南澤一右(仙台青葉城) 「【続】変化を楽しみながら新生北東部を創ろう!」  
仙台広瀬川クラブ会長 菅野 健 「10年の歴史を励みに、次なる10年へ」

## 今月の聖句

神をたたえよ。神はわたしの祈りを退けることなく、慈しみを拒まれませんでした。

詩編 66章 20節  
菅野 健

## 巻頭言

### 『箱根駅伝』

今年の箱根駅伝は、青山学院大学が2年ぶり6度目の総合優勝を果たしました。以前、テレビで学生たちの寮生活の様子や練習の様子、そして、原監督と学生たちの関わりが放映されていました。

原監督は怪我で陸上を離れ、サラリーマンになりました。チーム育成のプランが評価され青山学院大学陸上部の監督になったとの事でした。原監督の言葉の中に「足が速いだけではダメ。学生たちはこれから社会にでる。一人前の社会人を育成する。」とありました。なぜ、私がこの言葉に共感できたかという、YMCAにもたくさんの学生がボランティアに来て、子どもたちと活動を共にしています。ボランティアリーダーたちは、箱根駅伝のランナーたちと同じ世代です。私たちスタッフの役割の一つは、学生たちが社会に出ていくことを意識しながら伝えていくことが大切だと思っています。



増山和憲

2021～2022 年度 クラブ役員					
会 長	菅野 健	会員増強	加藤 研	ドライバー	佐藤 健吾
副 会 長	加藤 研	EMC	布宮 圭子	ドライバー	増山 和憲
書 記	多田 修	DBC	菅野 健	メネット会長	多田 純子
会 計	松本 京子	DBC	村井 伸夫	ブリテン	増山 和憲
監 査	高篠 伸子	ユース	佐藤 剛	ブリテン	佐藤 健吾
地域奉仕	阿部 松男	ユース	清水川 洋	担当主事	増山 和憲
地域奉仕	本野日出子	YMCA サービス	門脇 秀知	記念行事	加藤 研

1月第1・第2合同例会 強調月間：IBC・DBC							
在籍者	14名	出席者	4名	メイキャップ	0名	出席率	28%
メネット	1名	ゲスト・ビジター	0名	ニコニコ	5,000円		

### 【1月第1・第2合同例会報告】

日 時：2022年1月19日（土）18:30～

場 所：仙台YMCA 203 教室

参加者：阿部メン、加藤メン、菅野メン、佐藤剛メン、多田メネット、増山  
「黙祷」

1. 開会点鐘
2. ワイズソング
3. ワイズの信条
4. 会長挨拶

菅野会長より

「コロナの終息がままならないなか、第1・第2合同例会が行えることに感謝」という言葉があった。

5. 今月の聖句・感謝の祈り
6. 協議

- (1) 各種献金について
- (2) 会計より中間報告と10周年会計報告
- (3) 次期会長について

※(1)(2)については、会計の松本ウィメンが急遽、欠席だったため書面での報告となり、次回の例会で再度、協議することになった。

※(3)の次期会長については、現会長より推薦があったが、例会を欠席の為、打診と本人の意思を確認していくことになった。

7. 連絡・報告<各担当及び担当主事>

担当職員の増山より

- ・東日本大震災後から実施している、ボランティアいちごワークは、コロナ感染者が増えているため、2月・3月は中止。
- ・2月23日（水・祝）はピンクシャツデー

菅野会長より

- ・2月16日（水）に第1・第2合同例会を実施する。ピンクシャツデー例会とし、可能ならピンクの物を身に着けて出席して欲しい。

8. 誕生日祝い（5日・菅野メン）・ニコニコ

9. 閉会挨拶

10. 閉会点鐘

## 【2022年 抱負】

### 菅野健メン

2年にまたがるコロナ禍、まだ収束が見えません。この期間、ワイズの活動も思うように出来ずに歯がゆい思いの毎日です。幸い仙台の4クラブ・YMCAでは、大きな感染もないことは会員の皆さん、職員の皆さんの努力とご協力の賜物です。感謝！感謝！

聖書で「神様は乗り越えられる試練しか与えない」と教えられました。裏返せば「与えられている試練は必ず乗り越えられる」ということになります。信じて進みましょう。



77歳になって想うことは、「明日でも間に合うことは今日しないで明日に回す」「他人に任せられることは自分でしないで他人に任せる」

「あせらず」「おこらず」「めんどうがらず」「にこにこして」暮らしたいものです。定年退職の4月から通い始めたサクスクール、あっという間に12年目を迎えました。その間、東日本大震災、そして今はコロナ感染者の拡大、楽天の初優勝、ペガルタJ2降格。つらいことも明るいこともありました。必ず立ち戻ることを信じて、今は「ヤングマン」を練習中です。若い人たちと一緒にマスクを外し大きな声で、「ヤングマン！ Y・M・C・A」と

私の伴奏で歌えるように。

### 本野ウイメン

私の一日の始まり。朝、新聞をポストから持ってきて、トップページ（1面）を見て、それから、ひっくり返して最後のテレビ番組を見ながら本日の録画番組と見る番組を決める。次にスポーツコーナーを読む。最後に新聞で一番楽しみなのが、各ページ下段の大きな各種広告です。本日のイベント・銘品・新刊雑誌・お悔やみ・好評発売中の・・・等本当に楽しいです。

今年は、日中の暇な時間を利用して、もう少し新聞を読もうと思います。

### 多田メン

コロナ禍の終わりが見え始め、少し穏やかな年始を迎えたと思ったのも束の間、あっという間に局面の変化がありました。

約2年間の経験から、目の前のことに一喜一憂せず、少しのユーモアとアイディアを持ち合わせて生活できればと思います。

### 加藤メン

あと1か月すると現在の職業に就いて40年となります。スポーツ紙の1面が歌手の江利チエミさんが亡くなったことを大きく報道した日がこの道へのスタート日で、私の誕生日でもありました。一言「光陰矢の如し」です。今も昔もあまり変わらぬ日々です。進歩がないと言うべきでしょう。40年がまるで1日のようです。残す時間は限りがあります。やるべき大切なことがいくつか頭をよぎります。「幸せを感じられているか」「やりがいを感じているか」を常に心に問いかけこの1年を歩みたいと思っています。

広瀬川ワイズメンズクラブの皆様からの抱負ではありませんが、ワイズメン一人ひとりが、2022年も輝き、広瀬川ワイズメンズクラブが力強く歩みを進めることができるように願っています。

### 【費用納入のお知らせ】

今年も残りわずかです。費用の納入が済んでいない方は、振込をお願いします。



よろしくお願ひします。

ゆうちょ銀行  
記号 18150 番号 262161  
仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

他金融機関からの振り込み  
店名 八一八（ハチイチハチ）  
店番 818 普通預金

### YMCA通信

- ◆2月11日（祝）に予定していた全体職員研修会は、コロナ感染者拡大のために中止となりました。
- ◆2月23日（水）は、カナダで始まったいじめ反対運動の『ピンクシャツデー』です。会員の皆様への発信と共に、仙台YMCA各施設がシンボルカラーのピンクに染まっていきます。いつでも、どこでも、互いを思いやる気持ちは大切ですね。

### 2月の予定

- ◆2月16日（水）仙台広瀬川ワイズメンズクラブ第1・第2合同例会
- ◆2月23日（祝）ピンクシャツデー

### 【編集後記】

2022年が始まり、1ヶ月が経とうとしています。ワイズメンの方から今年の抱負をいただきましたが、私は『1日1笑』を心がけて過ごしていきたいと思ひます。

【K・M】